

いわゆる食薬区分とそのまわり

-開催趣旨-

昭和 46 (1971) 年に発出された各都道府県知事あて厚生省薬務局長通知 (薬発第 476 号) 「無承認無許可医薬品の指導取締りについて」は、発出年の数字をとって“4 (ヨン) 6 (ロク) 通知”と略称されますが、医薬品と非医薬品を区分する考え方の基本を示しています。これに基づき分類された非医薬品成分本質には、健康食品等に利用されるものも多く、一般にこの区分を食薬区分と表現したりします。近年、たくさんの健康食品が利用されるようになりましたが、その品質管理や品質保証を考えると、原材料の本質に関わる考え方を正しく理解することは、新しい素材やより消費者にアピール度の高い素材の利用を企画する際等には特に重要な事項となるはずです。

本シンポジウムでは、この食薬区分について、立場が異なる 5 名の講師に登壇いただき、切り口の違う食薬区分像をご披露いただきます。共感される部分、見方を変えると納得できる部分など、ご参加の皆様の立ち位置によって、受け取り方は多様になると思われますが、総合討論に加えまして事後の名刺交換会も開催予定いたしておりますので、この機会を有効活用していただければと思います。

《プログラム》 (予定)

シンポジウム 13:30~16:40

13:30-13:35 世話人挨拶 伊藤美千穂 (国立医薬品食品衛生研究所生薬部 部長)

座長：小関良宏 (東京農工大学 名誉教授)

13:35-14:15 講演① 食薬区分の考え方と背景

国立医薬品食品衛生研究所 名誉所長 合田幸広

14:15-14:45 講演② 食薬区分に関する実務・現状について

厚生労働省監視指導・麻薬対策課 治田義太郎

14:45-15:15 講演③ 健康食品の成分と食薬区分 一新規成分の安全性確保を中心にー

一般社団法人 日本健康食品規格協会 理事長 池田秀子

(15:15-15:25 休憩)

座長：伊藤美千穂 (国立医薬品食品衛生研究所生薬部 部長)

15:25-15:55 講演④ 食薬区分の毒性学的検討課題等について

国立医薬品食品衛生研究所病理部 部長 小川久美子

15:55-16:25 講演⑤ 食での健康機能性の提供と食薬区分への対応

ハウスウェルネスフーズ株式会社 石田亮介

16:25-16:35 総合討論

16:35-16:40 閉会挨拶 合田幸広 (日本食品化学学会理事長、国立医薬品食品衛生研究所 名誉所長)

名刺交換会 17:00~18:00

- 日 時：2023 年 11 月 17 日 (金) 13:30-16:40 (受付開始 12:50)
- 場 所：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40)
- 定 員：200 名程度／事前登録、当日参加も可能 (定員になり次第、受付終了します)
- シンポジウム参加費：会員 (事前登録振込 2,000 円、当日参加申込 3,000 円)、
非会員 (事前登録振込 4,000 円、当日参加申込 5,000 円)、
学生 (事前登録は無料、当日参加申込は 100 円)
- 名刺交換会参加費：会員・非会員・学生 (事前登録、当日参加にかかわらず 1,000 円)
- 申込み：6 月中旬開始予定。本学会 HP の「参加申込フォーム」よりお申込ください。

※当日参加の方は、
おつりの無いよう
お願い致します。

★ 参加者を対象に Shimadzu Tokyo Innovation Plaza ラボツアーを開催します (同日午前中)

島津製作所様への直接申込が必要です。右の QR コードもしくは下記 URL から申込下さい。

URL: <https://forms.office.com/r/d79sDpwq5y>

